

別表2-1

(上半期 ・ 下半期)

点検箇所

棟 階 室

(点検者職位・氏名:)

自主検査点検表(定期)

実施項目		確認箇所 (良・・・○、不備・欠陥・・・×、要改修・・・△)	検査結果		
建物構造	(1) 基礎部	上部構造体に影響を及ぼす沈下・傾き・ひび割れ・欠損等			
	(2) 柱・梁・壁・床	コンクリートの欠損・ひび割れ・脱落・風化等			
	(3) 天井	仕上材の剥落・落下の怖れがあるたるみ・ひび割れ等			
	(4) 窓枠・サッシ・ガラス	ガラスの落下又は枠自体の外れの怖れがある腐食・緩み・変形等			
	(5) 外壁・ひさし・パラペット	外壁面仕上材(タイル)の剥落・落下の怖れがあるひび割れ・浮き上がり等			
	(6) 手すり	支柱が破損・腐食していないか。取付部に緩み・浮きがないか。			
	(7) 消防隊非常用進入口	表示されているか又、進入障害はないか。			
防火設備	(1) 外壁の構造及び開口部等	① 外壁の耐火構造等に損傷はないか。 ② 外壁近く及び防火戸の内外に防火上支障となる可燃物の堆積・避難の障害となる物品等は置いていないか。 ③ 防火戸は円滑に開閉できるか。			
	(2) 防火区画	① 防火区画を構成する壁、天井に破損はないか。 ② 階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。			
避難施設	(1) 廊下・通路	① 有効幅員が確保されているか。 ② 避難上支障となる設備・機器等の障害物を設置していないか。			
	(2) 階段	① 手すりの取付部の緩みと手すり部分の破損がないか。 ② 階段室の内装は不燃材料になっているか。 ③ 階段室に設備・機械等の障害物を設置していないか。 ④ 非常用バッテリーで点灯するか。			
	(3) 避難階の避難口(出入口)	① 扉の開放方向は避難上支障ないか。 ② 避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。 ③ 避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。 ④ 避難階段等に通ずる出入口、屋外への出入口の付近に障害物はないか。			
火気設備器具	(1) 厨房設備(大型レンジ、フライヤー等)ガスコンロ、湯沸器	① 可燃物品からの保有距離は適正か。 ② 異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。 ③ ガス配管は亀裂、老朽化、損傷していないか。 ④ 油脂分を発生する器具の天蓋及びグリスフィルターは清掃されているか。 ⑤ 排気ダクトの排気能力は適正か。ダクトは清掃されているか。 ⑥ 燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。			
電気設備	(1) 変電設備	① 電気主任技術者等の資格を有する者が検査を行っているか。 ② 変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。 ③ 変電設備に異音、過熱はないか。			
	(2) 電気器具	① タコ足の接続を行っていないか。 ② 許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。			
検査実施者氏名		検査実施日	検査実施者氏名	検査実施日	防火管理者確認
構造関係		令和 年 月 日	火気設備器具	令和 年 月 日	
防火関係		令和 年 月 日	電気設備	令和 年 月 日	
避難関係		令和 年 月 日	危険物施設	令和 年 月 日	

注：不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理責任者に報告すること。

自主検査点検表(日常)「火気関係」及び「閉鎖障害等」

実施責任者		火元責任者							
期 日	点検項目 (良…○、不備・欠陥…×、要改修…△)								
	火気関係			避難障害			閉鎖障害	AED	防火 管理者 確認 印
	電気器具の 後始末及び 配線老朽化 と損傷状況	火気設備器 具設置及び 使用状況	倉庫等の施 錠状況	避難口	廊下避難通 路	階段	防火戸	AED AED	
1日 ()									
2日 ()									
3日 ()									
4日 ()									
5日 ()									
6日 ()									
7日 ()									
8日 ()									
9日 ()									
10日 ()									
11日 ()									
12日 ()									
13日 ()									
14日 ()									
15日 ()									
16日 ()									
17日 ()									
18日 ()									
19日 ()									
20日 ()									
21日 ()									
22日 ()									
23日 ()									
24日 ()									
25日 ()									
26日 ()									
27日 ()									
28日 ()									
29日 ()									
30日 ()									
31日 ()									

注：不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理責任者に報告すること。

別表3

消防用設備等自主点検表

実施設備	確認箇所（良・・・○、不備・欠陥・・・×、要改修・・・△）	点検結果
消火器 (令和 年 月 日実施)	(1) 設置場所に置いてあるか。 (2) 消化薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。 (3) 安全栓が外れてないか。安全栓の封が脱落していないか。 (4) ホースに変形、損傷、老朽化等がなく内部に詰まりがないか。 (5) 圧力計が指示範囲内にあるか。	
屋内消火栓設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。 (2) 消火栓扉は確実に開閉できるか。 (3) ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。 (4) 表示灯は点灯しているか。	
泡消火設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 泡の分布を妨げるものがないか。 (2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。 (3) 泡のヘッドにつまり、変形はないか。	
自動火災報知設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。 (3) 用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。 (4) 感知器の破損、変形、脱落はないか。	
ガス漏れ火災警報設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機のスイッチはベル停止となっていないか。 (3) 用途変更、間仕切り変更、ガス燃焼機器の設置場所の変更等による未警戒部分がないか。 (4) ガス漏れ検知機に変形、損傷、腐食等がないか。	
非常ベル (令和 年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 操作上障害となる物がないか。 (3) 押しボタンの保護板に破損、変形、損傷、脱落等がないか。	
放送設備 (令和 年 月 日実施)	(1) 電源監視用の電源電圧計の指示が適正か、表示灯が正常に点灯しているか。 (2) 試験的に放送設備により放送ができるか。	
誘導灯 (令和 年 月 日実施)	(1) 改装等により設置位置が不適正になっていないか。 (2) 誘導灯の周囲に間仕切り、衝立、ロッカー等があつて視認障害となっていないか。 (3) 外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、適正な取付状態であるか。 (4) 不点灯、ちらつき等がないか。	
消防用水 (令和 年 月 日実施)	(1) 周囲に樹木等使用上の障害となる物がないか。 (2) 地下式の防火水槽、池等は、水量が著しく減少していないか。	
検査実施者氏名		防火管理者氏名

注：不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理責任者に報告すること。